

練二通信

No. 399

令和2年7月1日
練馬第二小学校
校長 濱中 一

やろうとした意欲を認める

副校長 橋本 誠之

学校が再開して一か月が過ぎました。新しい先生、新しい友達、新しい教室にも徐々に慣れ、子供たちの表情も明るく笑顔が見られるようになりました。七月からは第二、第四土曜日に午前授業を実施します。子供たちの心身の健康には十分に配慮して参ります。

さて、子供たちに大人気のドラえもん。今年は連載開始五十周年を迎えるそうです。長い間、愛され続けている理由はいくつもありますが、その一つに、豊かな人物像があげられます。

主人公のび太君は決して自尊心の高いい子供とは言えません。そんなのび太君の将来を心配するお母さんは、「しつけ」として、のび太君に「○○しなさい。」「○○しちゃだめよ。」と毎日、言い聞かせます。しかし、のび太君の心には響きません。このようなのび太君に「大丈夫、のび太君ならできるよ。」「失敗してもいいんだ。やってごらん。」「と繰り返し励ますのが、ドラえもんです。この励ましでのび太君は

やってみます。成功するときもありますが、失敗に終わってしまうことも多々あります。それでも、ドラえもんは、成功すると「よかったね。」とのび太君の気持ちに共感し、失敗してもものび太君を責めたりはしません。

多くの大人は、のび太君のお母さんのように、自分を見つめ、自立した子供であってほしいと願っていることでしょう。しかし、子供は、なかなかうまくは育ちません。では、どのようにすれば、自立した子供に育つのでしょうか。

「○○できたからえらいね。」とほめることは、できたことしか認めてもらえません。だから、できないことで「自分分はダメだ。」と思ってしまいます。大切なことは、やろうとした意欲を認めることです。失敗が許されると挑戦することができず、また、当たり前のことと認めることも大切です。それが「自分のことを見てくれている。」と子供の安心となります。安心感の子供は

自らを成長させる力となります。

また、「あなたはえらい。」と評価するのはなく、「お母さんは立派だと思う。」「と自分を主語にした言葉をかけることです。子供は、自分の行動が他者に役に立ったことに自信をもち、さらに家族に愛情も感じます。叱る時も「あなたは」ではなく、「お母さんは悲しい。」と主語を自分にするので、子供は、自分の言動が家族を悲しませるんだと気づき、改めようとしています。

ここ数か月、家族で過ごす時間がぐっと増えました。今後、新しい生活様式に慣れていく中で、家族のつながりが一層、大切になると思います。ぜひ、子供の成長を楽しみむ我々、大人でありたいと願っております。

六月の朝会より

○自分の命は大切、他の人の命も大切。体を守るために、適切な距離、マスク、手洗い。心を守るために、差別をしない。「死ね」「うざい」「きもい」「消えろ」の言葉は禁止。苗字を呼び捨てで呼ばない。

○デモで対立をしたり、犯罪のようなことが起こったり。次々に情報が届くが、その国の人全てが悪いわけではない。国の人への差別は絶対に許されない。

○一年生は、全員で揃ったのが初めて。二年生以上は、三月からの三か月で心が大きく成長し、久しぶりの生活。あわてず、ゆっくり友達を増やしていこう。

○心を整えて学習することが大切。授業の始まりと終わりにしっかりと挨拶をする。ノートには下敷きを入れて字を書く。

七月の行事予定

- 6 (月) 尿検査配布・委員会活動
- 10 (金) 尿検査回収
- 11 (土) 四時間授業(公開なし)
- 13 (月) B時程・個人面談週間【希望者】

(7月17日)

- 23 (木) 登校日・一年生を迎える会(放送保護者会(一〜三年))

- 24 (金) 登校日・保護者会(四〜六年)
- 25 (土) 四時間授業(公開なし)

- 31 (金) 終業式・給食終

- 8 / 1 (土) 夏季休業日始

- 25 (火) 学力補充教室(8月27日)

★二学期始業式

- 8月31日(月) 給食始

- 一〜四年生 四時間授業

- 五・六年生 五時間授業(委員会活動)



★七月の生活時程は次のようになります。

- A時程 五校時 十四時十五分 下校
六校時 十五時 五分 下校

- B時程 五校時 十四時 下校
六校時 十四時五十分 下校
四校時 十二時 下校(土曜日)

お子さんとご確認ください。

★今月の生活目標

- ・廊下や階段は正しく歩こう。

☆重点目標

- ・ろうかは右側を静かに歩く。
- ・ろうかや階段ではふざけない。

委員会活動紹介

七月六日より今年度の委員会活動が始まります。それぞれの委員会では創意工夫を凝らし、練二小を盛り上げていくってほしいと思います。

○代表委員会

代表委員会では、全校が練二小での生活をよりよく、楽しくするためにできることを考えたり、解決したりしています。そのために、どんなことができるかを三年・六年の代表委員が意見を出し合って、計画・実行していきます。また、どんな学校にしていきたいか、各学級からのアンケートをもとに全校スローガンを作り、みんなで目標に向かっていくようにしていきます。

二期期には、毎年ユニセフ集会を行い、募金活動をしています。日本で生活する私たちには、想像することが難しいこともあるかと思いますが、より広い視野で自分にできることを考えるよい機会になると思っています。

○集会委員会

集会委員会の活動は、児童集会の企画・運営、児童朝会の準備、体育館の窓の開閉です。

その中でメインの活動は、なかよし集会です。今年度は、集会の在り方にも制限がかかってくると思いますが、限られた条件の中でも、何ができるかアイデアを出し合い、活動を工夫していきます。

す。そして、一年生から六年生みんなが楽しめ、仲良くなれるような集会を目指します。

○放送委員会

放送委員会では、朝の放送や昼放送、帰りの放送などを予定しています。集会や行事等での、放送や準備もしていこうと考えています。楽しい放送ができるように、放送委員会が企画をしてけるような活動をしていこうと思います。

学校生活を送っていく中で、時間の目安となる放送の仕事に、責任と誇りをもって行える委員会を目指して活動していきます。

○運動委員会

運動委員会では、学校のみんなが安全に楽しく体育の学習ができるように体育倉庫の整理整頓やボールの空気入れを行っています。また、全校で取り組む長縄集会の企画運営も行う予定です。

○保健・給食委員会

保健給食委員会では、水質の検査や、手洗い、かぜ予防などのポスター作りを予定しています。健康生活を推奨する活動をしていきたいです。

また、毎日の給食黒板の記入、保健給食新聞の発行し、練二小の皆さんが食事や栄養について考える機会を作っていきます。

今年も、好きな給食を全校児童に選んでもらう「リクエスト給食」ができることを願っています。

○飼育委員会

飼育委員会は四季折々のビオトープやバタフライガーデンのお手入れ理科室前の水槽にいるフナや金魚、飼育小屋にいるウサギのお世話を通して「命」と向き合う活動をしています。

今年度の活動が始まる前に悲しいお知らせをしなければなりません。長い学校休業中、私たちのかわいい家族であるミルクが亡くなりました。何回か病院に行き一時回復の兆しも見られたのですが6月13日無くなってしまいました。ココアが一羽だけになってしまいました。だがこれからの一層学校の小動物たちを大切にお世話していきたいと思えます。

長期休業中など閉庁日など、保護者の方々にはウサギのお世話のご協力をいただくことがあると思います。どうぞよろしく願いいたします。

○図書委員会

図書委員会では、「練二小の子供たちが本に親しみ、読書を楽しめるように」というめあてをもって活動しています。常時活動として本の貸出・返却の対応や整理整頓を行う他、「おすすめの本のポスター」作りや「図書新聞」の発行も続けていきたいと思えます。

夏休みを迎えるにあたって

生活指導主任

長かった自粛期間を余儀なくされた年度当初でした。それでも、子供たちが心待ちにしている夏休みがやってきます。今年の夏休みは少し短くなっていますが楽しい予定も入っているのではないのでしょうか。長いようで短い休みだからこそできる有意義な体験をしてほしいと願っています。学校からは「夏休みの生活について」を夏休み前に配布いたします。お子さんといっしょにお読みいただき、夏休みの過ごし方について話し合っていたらと思います。

次のような指導をいたします。ご家庭でもご配慮ください。

○自由研究、読書などを計画に盛り込み、有意義に過ごしましょう。

○早寝早起きをし、生活のリズムを整えることを心がけ、健康に過ごしましょう。

（4・5月の学校休業中にリズムを大きく崩してしまった子供たちもいました。一度崩れると立て直しが非常に難しくなってしまいます。気を付けて過ごしてください。）

○飛び出しによる事故が多発しています。自転車、乗り方や道路の歩行・横断には、十分注意しましょう。また、道路では遊ばないようにしましょう。○犯罪の被害に合わないよう、危険な場所の確認や防護策を話し合っておきましょう。

※外出時には、防犯ブザーを携帯しましょう。